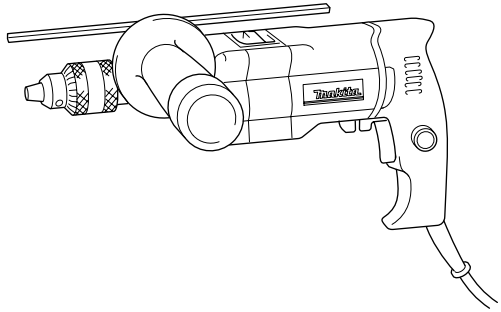


Makita

取扱説明書

20mm 2スピード震動ドリル

☐ モデル HP2032
(無段変速・正逆転両用)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**2スピード震動ドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

主要機能		モデル	HP2032
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100V	
電流		7.6A	
周波数		50-60Hz	
消費電力		720W	
回転数		高速	0 ~ 2,900 min ⁻¹ (回転 / 分)
		低速	0 ~ 850 min ⁻¹ (回転 / 分)
打撃数		高速	0 ~ 32,000 (回 / 分)
		低速	0 ~ 9,400 (回 / 分)
穴あけ能力	コンクリート	高速	20mm
		低速	—
	鉄工	高速	8mm
		低速	13mm
	木工	高速	25mm
		低速	40mm
ドリルチャック能力		φ 1.5 ~ 13mm	
全長		370mm	
質量		2.5kg	
振動 3 軸 合成値	振動ドリルモード	17.5m/s ²	
	ドリルモード	3.0m/s ²	

- ・ 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-1 規格に基づき測定。
- ・ 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html> をご参照ください。
- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-18

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

震動ドリル安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、震動ドリルとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB002-4

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、振り回されないよう本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切り屑などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
7. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときには、飛散防止対策や防じん対策をしてください。

⚠ 注意

1. 工具類（キリなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 作業直後のキリや切り屑は大変熱くなっていますので、触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 細い径のキリは折れやすいので注意してください。
 - ・ 飛散して、けがの恐れがあります。

注

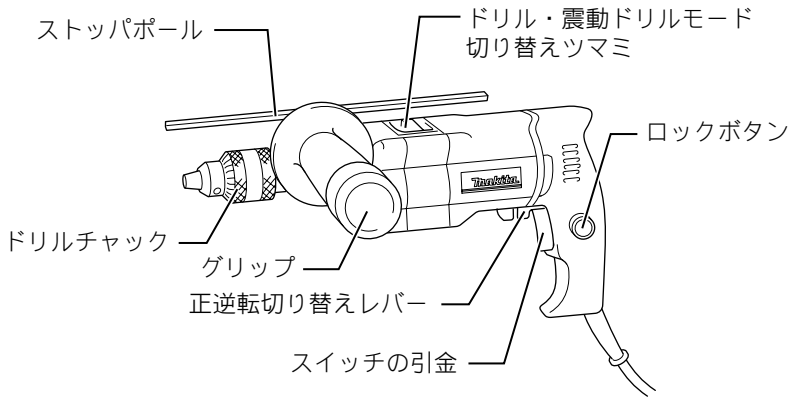
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ストッパポール
- ・ チャックキー S13
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

超硬ドリル（コンクリート用）

錐径 (mm)	長さ (mm)	最大穿孔能力 (mm)	部品番号
3.0	85	45	A-42260
3.2			A-42276
3.4			A-42282
3.5			A-42298
3.8			A-42307
4.0			A-42313
4.3			A-42329
4.5			A-42335
4.8			A-42341
5.0	85	45	A-42357
5.3	100	55	A-42363
5.4			A-42379
5.5			A-42385
6.0			A-42391
6.4			A-42400
6.5	100	55	A-42416
7.0	125	70	A-42422
7.5	90	60	791028-6
	125	70	A-42438
8.0	125	70	A-42444
8.5	100	75	791008-2
	125	70	A-42450
9.0	150	90	A-42466
9.5	120	95	711058-1
	150	90	A-42472
10.0	150	90	A-42488
10.5	150	90	A-42494
11.0	120	95	791009-0
	150	90	A-42503
12.0	150	90	A-42519
12.5	150	90	A-42525
12.7	150	90	A-42531
14.0	150	125	791029-4
	160	100	A-42547
	180	155	711027-2
	300	275	711028-0
14.3	160	100	A-42553
14.5	160	100	A-42569
16.0	180	115	A-42575
18.0	180	115	A-42581

使い方

グリップの取り付け方

⚠ 警告

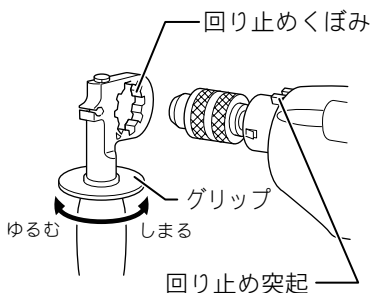
グリップの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

グリップは必ず取り付け、本機を両手で確実に保持して作業してください。

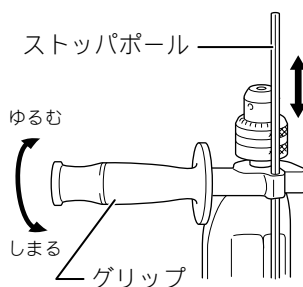
- ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。

- ・ グリップは本機に取り付けの際、回り止め突起とグリップの回り止めくぼみがかみ合うようにして、しっかり締め付けてご使用ください。
- ・ グリップは 360 度回すことができます。グリップをゆるめ、回り止め突起がはずれるところまでグリップを動かして、作業しやすい位置に回転させ再び回り止め突起がかみ合うように固定し、グリップを締めてご使用ください。ストップポールを使用した場合本機とストップポールが当たってグリップが回らない位置があります。



ストップポールの使い方

- ・ 同じ深さの穴をあけたいときにお使いになると便利です。ストップポールはグリップをゆるめグリップベースの穴に差し込んでお望みの長さに調節してください。調節後はグリップをしっかり締め付けて固定してください。



使い方

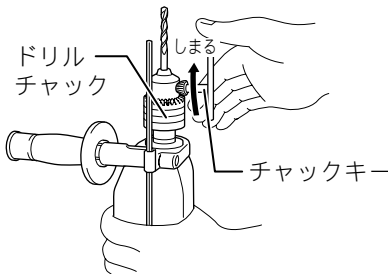
キリの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

キリや付属品等の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ 取り付けは、ドリルチャックの 3カ所の穴のうち 1カ所の穴にチャックキーを差し込み、左へ回しますとドリルチャックの先端のツメが開きます。キリを差し込み、チャックキーを図のように右方向に回して締め付けてください。締め付けは、3カ所を均等に締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は、ドリルチャックの穴にチャックキーを差し込み、左へ回してゆるめ、キリを抜き取ってください。



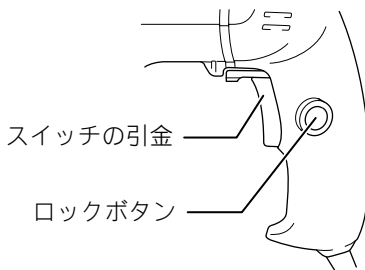
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

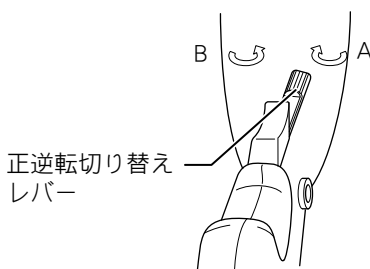
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金の引き加減によりお望みの回転数および打撃数が得られます。スイッチの引金をいっばいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



使い方

正逆転切り替えレバーの操作

- ・ 正逆転切り替えレバーをA側にするると右回転（正転）し、B側にするると左回転（逆転）します。

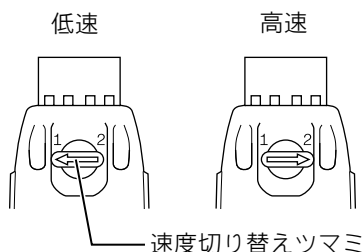


注

- ・ ご使用前には、必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転・逆転の切り替えは、モータの回転が完全に停止した状態で行なってください。回転中に切り替えますと故障の原因となります。

速度切り替えツマミの操作

- ・ 回転数および打撃数は速度切り替えツマミを回すことによって2段階に切り替えができます。
- ・ 速度切り替えツマミの→を「1」に合わせると低速になり「2」に合わせると高速になります。
- ・ 速度切り替えツマミがスムーズに動かない時は、チャックを左右どちらかに回し、レバー操作をしてください。





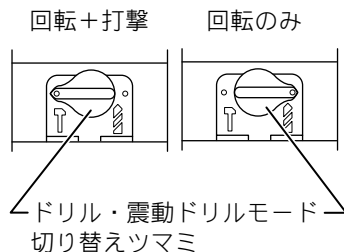
注

- ・ 速度の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行なってください。運転中に切り替えますと故障の原因となります。

使い方

ドリル・震動ドリルモード切り替えツマミの操作

- ・「回転のみ」(ドリルモード)で使用されるときは、 マーク側に切り替えツマミを回してください。
- ・「回転+打撃」(震動ドリルモード)で使用されるときは、 マーク側に切り替えツマミを回してください。



注

- ・ドリル・震動ドリルモード切り替えツマミが確実にシフトされず中間の位置で使用されますと、故障の原因になりますので必ず水平位置まで回してください。

穴あけ方法

⚠ 警告


穴の抜けぎわは、本機に大きな力がかかりキリが折れたり、振り回される恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

- ・ けがの原因になります。

キリを逆転させて抜くときは本機が振り回される恐れがありますので本機をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

- ・ 確実に保持していないと、けがの原因となります。

震動ドリルとして使用する場合

- ・ コンクリートやタイルなどの石材に穴あけされる場合は、本機上面のドリル震動ドリルモード切り替えツマミを  マーク (震動ドリルモード) 側に回してください。なお、ドリルは超硬ドリルを使用してください。
- ・ 深い穴で粉塵がつまる時は、超硬ドリルを回転しながら 2～3 回、穴より出し入れさせて、粉塵を排出してください。

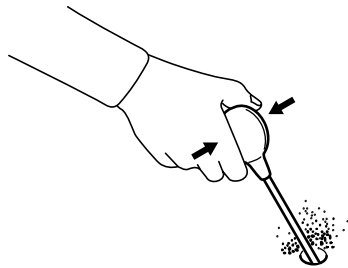
注

- ・ 作業するときには必ずグリップを使用し、グリップとハンドルをしっかり持って作業してください。


使い方

スポイトの使い方

- ・ コンクリートなどに穴あけ後、穴の内
部の切粉をスポイトを使用して吹き
飛ばしてください。



ドリルとして使用する場合

- ・ 金属や木材に穴あけされる場合は、本機上面のドリル・震動ドリルモード
切り替えツマミを  マーク（ドリルモード）側に回してください。
- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミを
作って、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な
位置に穴あけができます。
- ・ 穴あけ時にはキリに油（マシン油など）をつけて作業してください。

注

- ・ 本機を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。
作業能率が低下するばかりでなく、本機の寿命も短くなります。

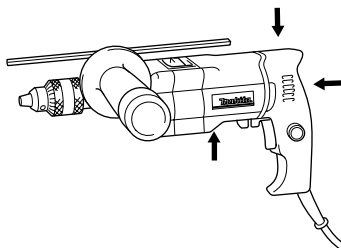
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

通風口をきれいにする

- ・ 通風口が粉塵などでふさがれないように、定期的に掃除をしてください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

881865C7

NNP

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)